

浅口市立金光小学校 令和5年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和5年10月26日公表

全国学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科は、全国平均を上回っており、特に「書くこと」の正答率が高い。無解答率が低く、自分の考えを書こうとする姿勢がみられる。 ○算数科は、全国平均を上回っており、「数と計算」「図形」の領域で正答率が高い。四則計算の基礎は身につけている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科では、問題文を整理して、図表やグラフなど多くの情報から自分の考えをまとめることに課題がみられる。 ▲算数科では、「変化と関係」の領域で全国平均を下回っており、基礎・基本の定着が必要である。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校に行くのが楽しい、先生はよいところを認めてくれる、と肯定的に回答した児童が全国平均より約20%高く、学校生活の充実が感じられる。 ○家庭学習時間が1時間以上と回答した児童は94%と非常に高く、家庭学習の習慣が身につけている。 ○授業で週3回以上タブレットを活用しており、ICT機器の使用が日常化している。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲約半数は将来の夢や目標を持っていない。 ▲自分の考えを発表するときに、話の組み立てを工夫することが苦手と感じている児童が35%いる。

岡山県学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○3・4・5年生の国語科・算数科ともにすべて全国平均を上回っている。 ○基礎・活用ともに3・4年生は全国平均を上回っており、学習内容の定着が感じられる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科では、叙述をもとに心情を理解したり、内容の要点をつかんだりすることに課題がみられる。 ▲指定された条件に合わせて文章を書くことの正答率が低い。 ▲算数科では、大きな数の理解に弱さがみられる。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合い活動では、自分の考えを広げたり深めたりすることができている児童が多い。 ○1日の読書時間が30分以上の児童が、県平均より約15%多いが、約20%の児童は全くしていない。 ○家の人自分のよいところを認めてくれていると感じている児童が約90%いる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲自分でやると決めたことをやり遂げるようにしている児童の割合が低い。 ▲失敗を恐れないで挑戦する児童の割合が低い。

改 善 策

学 校 での 取 組

- ①学習規律の徹底
 - ・心構え(チャイムの合図を守る)・身構え(姿勢「ピン・ピタ・グー」)・物構え(忘れ物をなくす)
 - ・教室環境を整える ・話し方・聴き方・発表の仕方(ソーシャルスキルトレーニング)
- ②分かる授業づくり
 - ・「金小学びのスタンダード」の実践 ・板書の工夫 ・ノート指導の充実
 - ・文のキーワードをとらえ、情報を整理する時間を大切にしたり、既習事項を活用して問題を解いたりすること
- ③基礎学力の定着のための取組
 - ・朝学習やチャレンジタイムの時間において、苦手分野のプリント(主に記述式)や、「タブレットドリル」などを活用した繰り返し学習 ・授業とつながる家庭学習の工夫
 - ・現単元だけでなく、既習単元や下学年の学習内容の復習
 - ・月1回の「家庭学習がんばり週間」に取組を通じた学習習慣の定着と充実
- ④算数科を中心とした「考える力・伝え合う力」の育成
 - ・考えを図や式や言葉で表し、根拠をはっきりさせて順序立てて説明をしたり、書いたりすること
 - ・ペアワークやグループ・全体での話し合いなどの学び合いの中で、自分の言葉で考えを伝えること
 - ・条件や時間を指定して考えをまとめたり、振り返りを書いたりする時間の工夫と充実を図ること

一貫教育 金光学舎での取組

- 中学校の定期試験期間に合わせて、家庭学習強化週間(「家庭学習がんばりカード」)を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。
- 生活習慣強化週間「早寝!早起き!朝ごはん!金光 学力アップ大作戦」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。
- 金光地区学校運営協議会の目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において連続した取り組みを実践する。

家庭・地域へのお願い

- 家庭での学習リズムの向上
 - ・授業での学びを確実に定着させるために、家庭での学習時間の充実を図りましょう。「10分×学年+10分」を目安に学習習慣をつけてください。「家庭学習の手引き」を活用して、家庭学習の仕方についてアドバイスや励ましをお願いします。
- 家庭での生活リズムの向上
 - ・家庭での時間の使い方やスマホ等の家庭でのルールづくりを子どもと一緒にいきましょう。「早寝・早起き・朝ごはん金光!」を活用し、バランスのよい食事や睡眠をとるなど、規則正しいリズムで家庭生活ができるよう支援をお願いします。